

第6回 高知大学部局間合同研究発表会

The 6th Interfaculty Research Meeting of Kochi University

肥満を防ぎ健康生活

— メタボリックシンドロームとは何か? —

日時: 2006年9月26日(火曜日) 17:00~20:00

場所: 高知大学医学部 臨床講義棟 第二臨床講義室

開会挨拶 17:00 ~ 17:10 高知大学副学長/研究推進本部長 小槻 日吉三

肥満を防ぎ健康生活

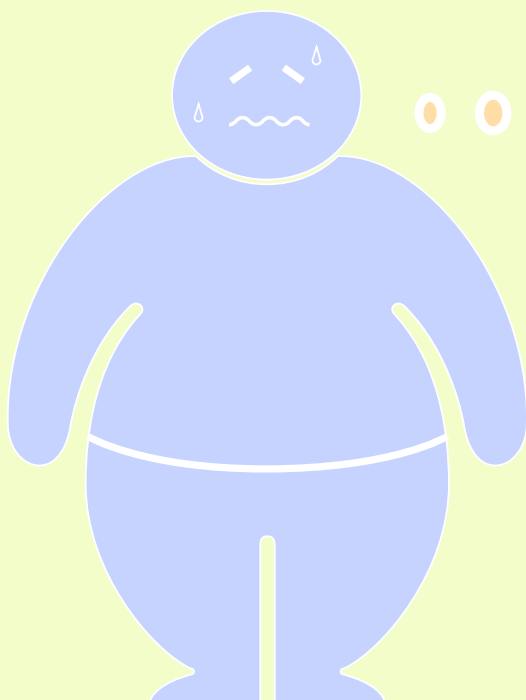
—メタボリックシンドロームとは何か?— 研究発表会 (17:10 ~ 19:55)

趣旨説明 (17:10 ~ 17:15) 総合研究センター 谷口 武利

1. 「メタボリックシンドロームの概要とリポ蛋白代謝の特徴」
(17:15 ~ 17:45) 医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 末廣 正
2. 「メタボリックシンドロームの申し子NASHの診断」
(17:45 ~ 18:15) 医学部 消化器病態学 西原 利治
3. 「肥満に対する運動の効果」
(18:15 ~ 18:45) 教育学部生涯教育課程スポーツ科学コース 駒井 説夫
4. 「メタボリックシンドロームの予防と運動 —運動の方法と継続のコツは?—」
(18:45 ~ 19:15) 医学部附属病院リハビリテーション部 中尾 聡志
5. 「メタボリックシンドロームを予防する食生活」
~肥満が気になる方の食事プランを考える~
(19:15 ~ 19:45) 医学部附属病院栄養管理室 細川 公子

総合討論 (19:45 ~ 19:55)

閉会挨拶 (19:55 ~ 20:00) 総合研究センター長 今井 章介



肥満になると...

糖の取り込み能力が低下
脂肪・筋組織

グリコーゲン合成酵素の活性が低下
肝臓

インスリンのはたらき低下
すい臓

血糖値 UP

糖尿病・高血圧・高脂血の危険性が高まる

●問い合わせ先

研究協力課研究支援グループ 杉本、岩山

電話 : 844-8879

E-mail : kk04@kochi-u.ac.jp

メタボリックシンドロームの診断基準

ウエスト(腹囲)

男性 85cm超 女性 90cm超

内臓脂肪面積が男女とも100cm²以上に相当

ウエスト周囲径が上記を超えて脂肪の蓄積が認められ、以下の3つのリスクのうち2つ以上のリスクを有する場合メタボリックシンドロームと診断する

リスク

リポタンパク異常

高トリグリセリド血症 150mg/dL以上
かつ/または
低HDLコレステロール血症 40mg/dL未満

血圧高値

収縮期血圧 130mmHg以上
かつ/または
拡張期血圧 85mmHg以上

高血糖

110mg/dL以上(空腹時)

※メタボリックシンドローム診断基準検討委員会による

入場無料 一般の方の参加を歓迎します。肥満が気になる方は、お気軽にお問い合わせ下さい。